

## 臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部附属病院麻酔科蘇生科では、倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお 2013 年 1 月 4 日から 2017 年 3 月 31 日の間で、福井大学医学部附属病院で手術を受けた患者様で、データを使用されることを拒否される方は下記問い合わせ先へご連絡ください。研究期間にご連絡頂いた時点より集計対象から除外することを保証致します。

平成 27 年 1 月 福井大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

### 【研究課題名】

年齢がプロポフォール esTEC (estimated target effect-site concentration) に及ぼす影響

【研究期間】 承認日 から 2017 年 3 月 31 日

### 【研究の意義・目的】

BIS モニター（麻酔深度を測るモニター）と静脈麻酔薬であるプロポフォール TCI ポンプ（プロポフォール効果部位濃度を予測し投与速度を決定してくれるポンプ）から取り込まれた情報から、設定された BIS 値を得るために個人個人に必要なプロポフォール効果部位濃度 (esTEC: estimated target effect-site concentration) を麻酔科医に代わって推定するアルゴリズムが開発され、電子麻酔記録上で動作させることが可能となりました。今回、esTEC40 または esTEC45（目標 BIS 値が 40 または 45 のプロポフォール効果部位濃度）が年齢に影響されるかどうか検討します。

### 【研究の方法】

予定手術患者で全身麻酔導入前に BIS モニターを装着し、プロポフォールとレミフェンタニルの完全静脈麻酔で行った症例を対象とします。麻酔導入は、プロポフォール 3-4  $\mu$ g/ml、レミフェンタニル 0.3-0.5  $\mu$ g/kg/min で行い、維持は BIS 値が 40-45 になるようにプロポフォールの濃度を調節し、手術侵襲に応じてレミフェンタニルの投与速度を調節した患者さんのデータを対象とします。プロポフォール esTEC を患者さんごとに後ろ向きに算出しし、年齢ごとにプロポフォール esTEC の値を比較検討します。

### 【研究終了後の資料などの取り扱い】

本研究に関するデータは、研究期間終了後も 2018 年 3 月 31 日まで保存させていただきます。将来、データを新たな研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理審査委員会の承認を受けます。

【研究組織】 実施責任者 松木悠佳 麻酔科蘇生科 助教  
研究分担者 重見研司 麻酔科蘇生科 科長

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究は、患者データを匿名化して取り扱い、個人情報を厳重に保護して行います。  
なお、本研究や保有する個人情報に関するお問い合わせ等がございましたら、下記へご連絡ください。

○問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 松木悠佳

電話：0776-61-8391 Fax：0776-61-8116 E-mail：[ymatsuki@u-fukui.ac.jp](mailto:ymatsuki@u-fukui.ac.jp)

○苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学 総務部 松岡キャンパス総務室 学術支援係

電話：0776-61-8614 Fax：0776-61-8153